

響を回避・低減する。

- 6) 供用時における轟川及び海域への負荷を低減するため、排水量の削減と排水濃度を低減する。

供用時においては、空港施設の水使用量を極力低減することとし、中水利用及び雨水貯留を行う。水質への影響を低減するため、汚水は浄化槽で処理し、BOD濃度は沖縄県上乘せ排水基準のうち最も厳しい値である日間平均20mg/L以下より低い10mg/L以下の濃度で排出し、COD濃度についても15mg/L以下の濃度で排出する。

- 7) カラ岳の切削部は、頂上を切らず、事業実施区域北側の大里集落から見た原風景が保てるように配慮した。

カラ岳の一部は、制限表面（進入表面、転移表面及び水平表面）に抵触することとなるが、水平表面に係る頂上部については、環境保全や文化財保護の観点から切削を行わず、事業実施区域北側の大里集落から見た原風景が保てるようにする。さらに、切削後の切削面については、厚層基材吹付け等を行う他、環境への影響を考慮して可能な限り現地の植物を利用する緑化対策を計画している。また、カラ岳の切削は極力削減するよう配慮した。

- 8) 取付道路は、遺跡の保全のため、盛山村跡遺跡を迂回する。

国道と事業実施区域駐車場を結ぶ道路である取付道路は、遺跡保護の観点から盛山村跡遺跡を迂回する。

- 9) 工事に用いる建設機械は、排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機械を使用することとし、大気質、騒音、振動に及ぼす影響を低減する。

工事の実施に当たっては、「排出ガス対策型建設機械指定要領」（国土交通省）に基づき排出ガス対策型として指定されている建設機械を使用するとともに、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（国土交通省）に基づき低騒音・低振動型として指定されている建設機械を使用することにより、大気質・騒音・振動への影響を低減することとしている。

- 10) 資機材運搬車両等の運行は地域の触れ合い活動を優先する。

工事の実施に当たっては、地域の触れ合い活動に及ぼす影響を回避・低減するため、資機材運搬車両等の運行は、マラソン等のイベントや集落での祭事を避けることとしている。